

乳がんキャンペーンを今年も実施します



1

伝えたい、
早期発見の大切さ

10月に入り、外出先でピンク色の装飾を目にする機会が増えたと思いませんか？これは10月が「ピンクリボンキャンペーン」の啓発強化月間に当たります。ピンクリボンは乳がんの正しい知識を広め、早期発見の重要性を呼びかける世界共通のシンボルマークです。JALグループは2004年からこの運動に賛同し、20年以上にわたり「乳がんキャンペーン」を実施してきました。

現在、日本人女性の9人に1人が患するといわれ、30～64歳の女性のがん死亡原因のトップとなっている乳がん。しかし早期に発見できれば、約9割の人が治癒する病気でもあります。だからこそ、早期発見のためのセルフチェック

クや検診が大切なのです。女性が多く活躍するJALグループは、乳がんに関する正確な知識の普及と検診受診率の向上を目指し、社内啓発活動だけでなく、各種SNSのJAL公式アカウントや、お客さまの目に留まるさまざまな場面でメッセージを発信しています。

機内で、空港で、
空の旅が
ピンク色に染まる

10月中旬にJALグループ便をご利用いただく際は、空港カウンターや搭乗口などに設置されたデジタルサイネージにぜひ目を向けてみてください。国内外各地の空港で、画面にピンクリボンのマークとメッセージが映し出されるは

今回のテーマに該当する目標



3

2

1.羽田空港でのお見送りイベント。2.「SAKURA」か「MOMO」の照明が機内を染める。3.パイロットの肩章にも注目！4.関西国際空港。5.8.ロサンゼルス国際空港。6.羽田空港でのミニチュアコンテナ展示。プリンセチアと共に。7.各地の空港で活躍するピンクリボンコンテナ。



6

5

4

ずです。また、羽田空港の国内線および国際線ターミナルには、サントリーフラワーズから無償でご提供いただいたピンク色のポインセチア「プリンセチア」が飾られます。10月限定でピンク色に染まる空港から、「乳がんのない世界」への思いを感じていただけますと幸いです。

羽田空港に向かう機内でこの記事を読んでいらっしゃるなら、着陸直前に機内照明がピンク色に変わるかもしれません。また、運航乗務員と客室乗務員が今月はピンクリボンバッジを着用し、有志の運航乗務員はピンク色のラインが並ぶ肩章を着けていますので、こちらにも注目してみてください。

駐機場で探してみよう
ピンクリボンコンテナ

そして、空港で探していただきたいのが「ピンクリボンコンテナ」です。JALグループの女性社員の発案によって2年前に誕生し、現在24台が国内線および国際



8

線の貨物輸送を支えています。社員だけでなく、空港を行き交う全ての人に乳がんの早期発見の重要性について訴えることができれば、との願いが込められたこのコンテナ、詳しくは9ページの記事もぜひご覧ください。

これらの取り組みは全て、あなたとあなたの大切な人を守るためのメッセージです。JALグループはこれからも、乳がんのない世界を目指し、全ての人が健康で輝き続けられる社会の実現に貢献してまいります。

S

JAL公式
SNSアカウント
でも発信中！

Facebook



TikTok

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

2015年9月、全国連加盟国(193カ国)により「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)」が採択されました。2030年までに、貧困や気候変動、平和的社会などの17の目標を達成すべく、JALグループも社会の課題解決に取り組んでいきます。